

令和5年度 シラバス 【芸術】

科目名	単位数	学年	使用教科書	使用副教材		
書道Ⅰ	2	1学年	38光村出版 書Ⅰ705 書Ⅰ	なし		
◇科目の概要と目標 1 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、創造的活動を通して理解する。 2 書の幅広い活動を通して、生活や社会の中の芸術や芸術文化との関わりについて理解を深める。 3 書に関する見方・考え方を養い、創造的な表現を工夫することができる知識、能力、態度を身に付ける。 4 書に関する興味、関心を高める。 5 書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。						
◇科目の観点別評価の目標						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。		書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。		書の幅広い活動を通して、書の伝統と文化に関わり主体的に鑑賞及び創造的活動に取り組もうとしている。		
月	4月	5月		6月	7月	
科目名	単元	単元	中間検査	単元	単元	期末検査
書道Ⅰ	「書の芸術性」	「漢字の書」 硬筆 漢字の成立と返還		「漢字の書」 楷書	「漢字の書」 用筆と字形の特徴	
知識・技能	文房四宝（墨、紙、硯、筆）の主な原料や製造方法を知り、用具用材を大切に扱うことができるか評価する。	漢字の成立と返還について知り、古典を臨書する意義を理解できているか評価する。		唐の太宗、初唐の三大家について理解することができるか評価する。	各教材の筆者について知り、書かれた背景や文書の概要を理解することができるか評価する。	
思考・判断・表現	墨、紙、硯、筆の違いにより表現に違いがあることをまとめた学習記録シートや作品で評価する。	特徴を理解して字形や書風を捉え、表現を工夫することができるか学習記録シートや作品で評価する。		各教材の表現方法に関心をもち、その美しさを味わい、特徴を理解して字形や書風を捉え、表現を工夫することができるか評価する。	用筆・運筆法、字形の取り方に注意して臨書することができるか評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	墨を磨り、心を落ち着かせて正しい姿勢で筆を執り、丁寧に作品を書くことができるか評価する。	硬筆に関心をもち、丁寧に書くことができるか評価する。		中国の古典を鑑賞し、その特徴やよさを味わおうとしているか学習記録シートや作品で評価する。	意欲的、主体的に練習に取り組むことができるか評価する。	
月	7月	9月	10月		11月	12月
科目名	単元	単元	中間検査	単元	単元	期末検査
書道Ⅰ	「漢字の書」 行書、草書	「篆刻の学習」		「仮名の書」 仮名の成立・変換 仮名の基本点画、用筆法	「仮名の書」 平仮名単体・変体仮名・連綿	
知識・技能	王羲之「蘭亭序」、智永「真草千字文」が尊重されてきた経緯を理解できたか評価する。	篆書、篆刻について興味、関心をもち、印の歴史、名称や種類、使い方、用具用材について理解できているか評価する。		仮名の成立過程や基本点画、用筆法に興味、関心をもち知識を深めることができるか評価する。	仮名の字母を覚えることができるか学習記録シートで評価する。	
思考・判断・表現	用筆や筆順、字形の特徴を味わいながら臨書できているか評価する。	篆書や篆刻が書作品や日常生活で果たしている役割を理解し、自分の名前印を制作できているか評価する。		各教材の表現方法に関心をもち、その美しさを味わい、特徴を理解して字形や書風を捉え、表現を工夫することができるか評価する。	用具、用材を丁寧に扱いながら、平仮名単体・変体仮名、連綿を書くことができるか評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	行書や草書の成立や主な特徴に関心をもち、意欲的、主体的に味わおうとしているか評価する。	手順を理解し、構想を練り、ワークシートに書き込むことができるか評価する。		仮名の特徴を味わい、意欲的、主体的に練習に取り組むことができるか評価する。	意欲的、主体的に練習に取り組むことができるか評価する。	
月	12月	1月	2月		3月 年間	
科目名	単元	単元	単元	学年末検査	総合評価	
書道Ⅰ	「仮名の書」 古典の臨書及び鑑賞	「漢字仮名交じりの書」	「刻字の学習」			
知識・技能	表現方法に関心をもち、意欲的に理解しようとしているか評価する。	漢字仮名交じりの書表現に興味、関心をもち、それぞれの時代の作品のよさや美しさを味わうことができるか評価する。	漢書の書、仮名の書で学んだ特徴を生かして書の創作をすることができるか評価する。		参考とする作品のよさや美しさを生かして表現する技能を身に付け、表している。 漢字と仮名の文字や字形について関心をもち、参考とする名筆の美しさと表現効果を味わい、見ることを楽しむことで、書への関心を高めようとしている。	
思考・判断・表現	仮名の用具、用材を正しく丁寧に扱いながら臨書することができるか評価する。	漢字仮名交じりの書には、様々な表現と美があることを理解することができるか評価する。 表現に合わせた用具・用材を選択し表現を工夫することができるか。	表現したいイメージをもって彩玉ボードに原稿を写し、彫り、彩色することができるか評価する。		古典や古筆のよさや美しさを感じ取り、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 名筆の字形や大きさなどが全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。	
主体的に学習に取り組む態度	作品の特徴やよさを味わおうとしているか学習記録シートで評価する。	「生きた言葉」を書き表現するために、構想から完成にいたるまで主体的に取り組む事ができているか作品や学習記録シートで評価する。	主体的に創作に取り組み、互いの作品を鑑賞し、その良さを感じ取る活動に積極的に参加しているか評価する。		表現と鑑賞は相互に関連していることを理解し、表現の構想から完成に至る	